

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 10月 27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200445		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	グループホーム ほのぼの苑 五日市八幡		
所在地	広島市佐伯区八幡5丁目16番地10号 (電話) 082-927-8400		
自己評価作成日	令和3年8月31日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200445-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年10月20日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

当グループホームは入居者様にとって居心地の良い所、また家にいるように気兼ねなく生活していただける、施設を目指しています。地域の方やご家族に遠慮なく訪れていただき、意見、提案を頂きたいと存じます。生活の中でも一番の楽しみである食事は旬の食材を使い季節感をもって美味しく召し上がって頂くよう工夫しています。毎日の生活の中で張り合いや楽しみを持って生活できるようにレクリエーション、体操、外への散歩、家事を楽しんで頂いています。入居者様、スタッフの笑顔を大切に考えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

職員は、張り合いと楽しみのある生活を大切にして、安心して喜怒哀楽が出せる居心地の良い場所作りを目指している。コロナ禍にて、外出・行事などへの参加制限がある中、職員は何とか身の活動性を補いたい気持ちが高まり、笑い声と共に身体を動かせるような「梅干し体操」や職員による人形劇などを取り入れ、1対1の会話機会になる散歩時間をより大切にするようになった。陽当たりの良い菜園にはインゲン・サツマイモ・大根など、利用者と共に収穫し、ちらし寿司やカレーなどの手作り調理の献立に彩りと会話をそえ、和やかな雰囲気支援している。最近、利用者一人ひとりにゆっくり寄り添い、思い・願い・本音を深く理解する事にも力を入れ、利用者が感動する誕生会になった例もある。

自己評価	外部評価	項目(東ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	朝の朝礼、申し送り時に出勤スタッフが唱和し常に「理念」に添ったケアが出来るよう努めている。	毎日の朝礼時に夜勤者と日勤者が、事業所理念を唱和し全員が意識して業務にあたっている。申し送り後、その日の利用者の状況に配慮しながら、「笑顔」「やすらげる環境」「生きがいのある生活」等を個々の職員が当日のケア目標とし、業務における具体的なケア内容や行動を発表し、実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入しており、町内の行事にも参加させていただいていました。去年に続きコロナウイルス拡大のため行事の中止で参加できていない。	回覧板や運営推進会議を通じて地域の情報を得て、利用者と共に行事に参加し秋祭りには神輿が立ち寄る等、楽しみながら交流を続けていたが、コロナ禍にて全て中止となっている。再び参加出来る状況になれば交流を再開する予定である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議がコロナウイルス感染症対策のため行えていませんが町内会の方、民生委員さんにはいつも理解と協力をいただいている。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議がコロナウイルス感染症対策のため町内会の方、民生委員さんご意見を頂いてスタッフに伝達しサービス向上に努めている。	利用者・家族・住民代表（町内会、ささえ会、民生委員）・地域包括支援センター・認知症地域支援推進員など多方面からの参加があり情報を得たり意見交換を行っている。現在はコロナ禍の為、文書にて施設状況や施設内での行事の実施状況を伝えている。	運営推進会議記録におけるヒヤリハットや事故の状況の欄には、項目毎の件数のみの記載となっている。その内容（発生状況・対応・対策など）を記載する事によって、事業所の運営状況が更に伝わり易く、双方向の理解や具体的な意見交換に繋がり、サービス向上に活かされる体制づくりを期待する。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	2か月に1度の運営推進会議に地域包括支援センターの方にご意見を伺い苑での状況、ケアの報告をし、アドバイスをいただいている。	介護保険法改定に伴う情報や市町への質問は本社を通じて理解する体制となっており、運営推進会議では地域包括支援センターから介護予防体操開催の情報や施設の空き状況を伝え共有している。コロナ禍にて未活動ではあるが、佐伯区グループホームネットワークに参加する等、市町との協力関係を築くよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(東ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は行わない介護を実施していますが繰り返し研修を行うことで身体拘束をしないケアを志、周知している。	3か月毎の身体拘束適正化委員会や年2回以上の全職員が参加する研修を行い、高い意識をもってケアを行う促しとなっている。毎月、虐待の芽チェックリスト表にて自己点検を行い、スタッフ会議にて振り返りや意見を出し合い、管理者と共に、全職員が尊厳を保つケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	毎月のスタッフ会議では「虐待の芽チェックリスト」に記入し自分、または他スタッフの言動を考える機会とし研修をおこなっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日頃は関りがあまりないので研修会を行いスタッフに周知してもらっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居契約時、管理者と他職員が十分な時間をとり説明を分かりやすく行っている。理解・納得されるまで質問して頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時には利用者様の様子を報告、相談し頂いたご意見はケアに反映させるよう努力をしている。	コロナ禍により、家族に直接、要望を確認する機会が減ったが、毎月の「ほのぼの通信」と職員が書いた手紙を郵送している。その後、電話で意見や希望を把握し、状況によっては家族に確認しながら対応し運営に反映させている。フロアで座る位置なども利用者の希望を汲み、ケアに反映させている。	

自己評価	外部評価	項目(東ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月行うスタッフ会議に委員会を設け各委員会からの報告、意見を出している。また日常のケアの中で疑問点や改善点は話し合っている。</p>	<p>職員は委員会（排泄・行事・環境・防災・危機管理）に所属しており毎月のスタッフ会議にて提案や準備について意見を出している。管理者は職員の思いや希望を聴き、職員と話し合いながら業務改善に繋げている。緊急時に医療面を含め、個々の情報を即座に提示出来るファイルを作成し活用している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>日常の仕事の取組みを考慮し職員の向上心を上昇させるよう年1回改定を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員に必要な研修を受講できるように配慮している受講後はスタッフ会議で全員に伝達している。ここ2年はコロナウイルスの拡大のため外部研修に参加していない。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>佐伯区グループネットワークに参加しているがコロナウイルス拡大のため参加していない。</p>		
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前、入居時、入居後ご本人様と面談を行い不安や要望があった時 納得されるまで傾聴し安心して生活出来るよう寄り添うことに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(東ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>不安や心配な事を極力傾聴し面談、電話でしっかりとコミュニケーションをとるよう努めている。真摯な態度で接する。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の残存能力を見極め、支援していく方針を見極めた上でサービスの適正を図る。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日常生活の中で利用者様が出来ることを一緒にして頂きながら役割を持って生活できるよう援助している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会や毎月のお便り、電話の取次ぎやリモート面会を行って本人と家族とのコミュニケーションをとり関係を大切にしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>現在はコロナ禍で難しいが大切に出来る限りの援助をしていきたい。</p>	<p>面会が制限される中、ガラス越し・リモート・離れた位置など工夫した面談を支援し馴染みの人との関係性が途切れないよう支援している。散歩時、昔の地理を思い出し、会話を楽しまれる例がある。また自由に隣のユニットに行き来ができ、新たな顔馴染みの関係性も大切にしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(東ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う入居者様同士近くの席になるようにセッティングし険悪な気配になればスタッフが察知して間に入り取り持つ等お互いにストレスにならないよう孤立しないように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も必要に応じて相談や援助が出来る様に務めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来る限り自分らしく介護者本位にならないよう家にいる様に居心地よく生活していただけるよう援助していくことを目指していく。	「私の暮らし方シート」を活用し、家族からの情報や日々の関わりの中で思いや意向を把握し随時、追記して共有している。新聞が読みたい・花を育てたい等、ケアプランに繋げている。希望する起床時間に合わせて個別の食事時間にする等、本人本位に検討した例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	センター方式を取り入れ本人の今まで生きてきた生活歴を理解、把握できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々、変化していく入居者様の状況、毎日の申し送りで報告、記録をして共有している。		

自己評価	外部評価	項目(東ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、家族の意向を配慮し日常生活から把握したニーズを入れてケアプランを作成しモニタリングをしつつ現場の意見を出し合いよりよいケアプランにしていく事に努めている。</p>	<p>本人・家族の要望や思いを基に、担当職員や看護師からの情報を得て関係者との話し合いを行い、計画作成者が介護計画を作成している。通常3か月毎にモニタリングを行い、状況や要望の変化があればケア内容や介護計画の見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日の記録を共有し、ケアプラン実施チェック表に記入、プランへの気づきも記入してケアプランの変更 改善に役立てている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人・家族の意思、希望を受容、理解し出来ることをスタッフみんなで思案し実現出来るよう努力している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の方との交流する機会を利用し行事。また地域のボランティアを活用し楽しみを持って生活して頂けるよう考慮している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前にご家族の希望を聞き対応している。またかかりつけ医の変更等、相談し家族、本人の意思で決定している。</p>	<p>本人・家族の希望により以前からの主治医か協力医のどちらかを選択できるよう説明している。協力医からは、月2回の往診や家族の協力もあり適切に医療に繋げている。受診後の情報や内服薬の変更時は、看護師を中心に全職員が周知し適切な対応に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(東ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護士、看護師は利用者の心身体調をよく観察し、変化や異常を感じたら家族、主治医と相談し受診するよう援助している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院前看護サマリーや必要な情報提供を行っている。退院前には病院から情報を頂き退院出来る状態の確認、退院日程調整を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居前にご本人、家族の意向を聞き、常に状態が変わった時、主治医、家族と何度も話し合い、本人、家族にとって最良の終末が迎えられる様、摺り寄せて支援を行っている。	契約時に「重度化における対応に係る指針」を説明し、要望があれば医師・看護師と連携しながらチーム全体で思いに寄り添える看取りの体制をとっている。必要に応じ終末期を過ごす場所に関して、その都度相談にのる等、最良の終末が迎えられるよう支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的に急変時、事故発生時の勉強会を行っている。急変、事故が起こったら全員で連携をとって迅速に対応している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	毎月の消防訓練、避難訓練を行い近隣の消防署、町内会に協力していただいている。	事業所の防災委員がリーダーシップをとり年2回（夜間も想定）の消防避難訓練を行っている。今年は消防署の諸事情で消防署指導の訓練は、年1回となっている。毎月の避難訓練時には利用者にライフジャケットを着用してもらい、職員と共に一時避難の経験を重ねている。	

自己評価	外部評価	項目(東ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	居心地の良い施設を目指し、入居者様の尊厳、人格を大切に思い言葉や態度をスタッフ同士お互いチェックしている。	毎月、個々に「虐待の芽チェックリスト」で振り返りを行っている。未達成な面は、職員間やスタッフ会議で話し合い、利用者が安心して、喜怒哀楽を表現できる居心地の良い住処を目指している。一人ひとりの要望や拘りを尊重し「決して無理強いをしない」「プライドを損ねない言葉や態度」に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	出来る限り、食事や入浴、排せつ時、着替え、レクリエーション色々な場面で声掛けを行い意思や希望を聞き援助を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床時間や就寝時間、入浴時間等、ご本人の体調や気分によって時間を融通している。無理強いしないように援助している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	可能な限りご自分で選んで頂きお化粧品も散髪もご自分の好みでしていただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の下ごしらえ、味見をして頂いて食べたいものを相談しながら旬の食材を使い美味しく召し上がっていただいている。おやつ作りも賑やかに笑い声もあり楽しまれている。入居者様が進んで食器を洗って頂いたり、拭いて下さっている。	利用者と共に、種から育てた野菜を収穫し、家事専門員による手作り料理の献立に彩りを添えている。芋ほりのあとは一緒にスイーツ等の献立を話し合い、準備や後片付けに進んで参加している。利用者からの普段の要望も取り入れ「食」を通じて楽しみや元気ある生活を支援している。	

自己評価	外部評価	項目(東ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量、キザミ、ミキサー等工夫し食事量水分量のチェックを行い、不足している方にはスポーツドリンク、ジュース等工夫して摂取して頂いている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に口腔ケアを必ず、声掛けし歯磨きをして頂いている。ご自分で出来ない方は介助をしたり義歯の洗浄を行い、うがいをして頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>入居者様の様子を伺いトイレの声かけを行っている。出来るだけ排便もトイレで出来るよう支援している。排尿の量、時間帯の傾向を分析しパッドを変えて使用している。</p>	<p>ユニット独自に工夫した排泄チェックシートを活用して、利用者の仕草や動作で声かけにも配慮しながらトイレでの排泄を促している。「どの排泄用品が適するのか」職員は常に気かけ、業者を招いて勉強会をする事もあり、排泄委員会が中心となって排泄の自立支援に努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食物繊維、ヨーグルト、牛乳等バランスを考えた食事、水分補給、適度な運動をして頂く。またトイレに座って頂く等姿勢も配慮し排便コントロールを行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴は無理強いせず気持ちよく入って頂く為、体調をみてタイミングを図り声かけを行っている。拒否されたら時間、日にちを変更している。</p>	<p>時間は特に定めず、その日の流れで入浴しており、個々の体調やタイミングに合わせて気分良く入浴できるように支援している。複数回、声かけするが眠気を理由に拒否が続く時、無理強いをせず「風呂のあとで寝よう」の声かけで入浴気分になったり、入浴時に昔の話を打ち明ける等の例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(東ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	基本的にはホールで過ごして頂いていますがベッドで休みたい方、居室でゆっくりしたい方は自由にして頂いている。おやつ、レクリエーションには声かけをして参加して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の効能効果、副作用をファイルし個人の薬一覧表を作成している。薬についてナースとスタッフがダブルチェックを行い薬への認識を持っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お掃除の上手な方、食器を洗って下さる方皆を仕切って歌を大きな声で歌って下さる方、それぞれの得意な分野で役割を持って頂き活躍して頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は施設の周りを天気が悪くても玄関先まで外の空気を季節を感じて頂いている。コロナウィルスが終息したら家族様との外出もして頂きたいと思います。	地域行事への参加や行事の外出は制限されている中、現在は、職員と会話しながら近隣に咲く季節の花や木を眺め、散歩する事がより楽しみとなっている。ガラス戸越しに見える菜園の手入れや収穫を通じて外気に触れる機会もある。終息後は家族の協力を得て、利用者の希望にそった外出の支援を再開する予定である。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族と相談しながら希望される物は購入して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(東ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人、またはご家族のご希望があればお手紙、贈り物の取次ぎまたオンラインでの面会もさせて頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>静かな空間で心地よく生活できるように配慮している。外の景色や季節のお花を飾ったり、季節の行事を楽しんで頂いている。</p>	<p>リビングにはテーブルやソファが置かれ、テレビを見て談笑や唱歌を歌うなど和やかな雰囲気作りに配慮している。居室で独りゆっくりしたい時も尊重し対応している。ガラス戸越しに中庭の野菜の成長を眺め、料理の匂いを感じながら会話する等、居心地よく過ごせるよう支援している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ホールでのお席を気の合う利用者様が一緒になる様に配慮している。体調のすぐれない時や静かに一人でいたい時は居室で休んで頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>使い慣れた物の持ち込み、家具をご本人、ご家族に相談し、配置している。居室の物を動かす時はご本人に許可を得てから行っている。</p>	<p>利用開始前に使い慣れたテレビ、大切な写真、位牌、好きな観葉植物などを持ち込み、その人らしい居室づくりを支援している。また職員は必ずノック後に承諾を得て訪室し居心地よく過ごせる配慮を厳守している。動線や歩行状態によって転倒予防の視点から家具配置の助言を行い、安全な居室づくりを工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>施設内トイレにはご自分で行かれている。天気の悪い日は廊下から隣のユニットまで散歩をし、歩行訓練を行っている。仲の良いお友達に会いに隣のユニットまで行かれる方もいる。</p>		

V アウトカム項目(東ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように(現在はコロナウイルス拡大のため面会を制限されている) <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	地域に寄り添い笑顔と思いやりを持って安らげる環境の中で生きがいのある生活を支援するよう努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会の行事に参加していましたがここ2年位コロナウイルス拡大のため参加できていません。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会の交流や施設見学会、介護相談会を開催していましたがコロナウイルス拡大のため2年間活動していません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議はいつも参加していただき、ご意見、要望はサービスに取り入れる様に努めています。コロナウイルスが終息したら再開する所存でございます。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	2か月に1度の運営推進を開き町内会会長、包括支援センター等出席いただいていた。協力 ご賛同頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的に研修、話し合いを行い身体拘束とは？自分たちの行動を振り返り反省、思索しています。防犯上玄関の施錠はしていますが入居者様が希望されれば散歩や買い物に同行しています。庭に出て土に触れることもして頂いております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待の研修や月に1度の虐待の芽チェックリストを記入スタッフ同士がお互いに「これって虐待にならない？」を常に頭に置き言葉や態度を注意しあうようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人という制度を利用されている方は現在いませんが学習する機会を作ります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前、契約時、契約後とも利用者、ご家族の疑問、質問に応じ何度も時間をかけて納得されるまで説明させて頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	電話や面会の機会に意見を聞くほか2月に1回の運営懇談会に出席して頂き要望や意見を頂き運営に反映するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1度のスタッフ会議を開催し社長、統括施設長が同席し、職員の意見や提案を聞いて対応している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>日頃の仕事への取組みを考慮し、職員の向上心を上昇させるよう定期的に改定を行う</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員に必要な研修を受講できるよう配慮しているがここ2年コロナウイルス拡大のため参加出来ていない。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>佐伯区グループネットワークに参加していたが現在コロナウイルス拡大のため開催されていません</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前、入居時、本人、ご家族と面談して丁寧に相談、説明を行い、納得していただくまで傾聴し安心して生活していただける関係作りに務めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	どんな小さな事も快く相談に応じ面談、電話対応の機会を多く持ち誠意を持って接すること相談しやすい関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	お話をよく聞いて、本人のADL・思いを正確に見極めて今のケアで良いか総合的に判断し適切なサービスを見極め支援する		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の意向をしっかり聞いて出来る事を見出し役割を持って生活できるように信頼関係を築いて行くよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者の心身の変化や状態を報告し、相談して利用者にとって良い方法での支援ができるように家族とともに考えています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	現在はコロナウイルス拡大のため思う様に外出、面会が出来ていませんが終息してから再開したいと思います。現在は電話やリモート面会をして頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様の相性を考慮し、ホールでの席等設定しています。また東ユニット・西ユニットでの合同レクリエーション、行事を企画して交流を図っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後、家族や本人の要望、必要があれば出来る限り対応していく所存です。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の入居者様に一人のスタッフの視点からではなく複数のスタッフ、角度を変えて観察し個人の思いをくみ取るよう務めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族や居宅からの情報を頂き、また本人との会話の中から見出し職員間で共有するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人のケアプランを作成し、モニタリングを行い、またスタッフの申し送り等で情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ケアプランを作成するときにご家族、本人の意向、介護スタッフ、看護師の意見を聞き個人に合ったプランであるよう作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプラン実施チェック表を作成し現状と感想、意見を記入して職員間で見直しケアプランの変更を考慮している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本当に利用者様のニーズに合ったものであると判断できれば他のサービスを取り入れるよう考慮する。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域と共に生活できるよう支援していく所存です。早くコロナウイルスが終息して地域と交流の場を設けたいと思います。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居前に本人、ご家族の意向で、受診、または往診の主治医を選択して頂いています。入居後の主治医やかかりつけ医の変更セカンドオピニオンも本人、ご家族と共に考え相談して納得の上変更されています。		

自己評価	外部評価	項 目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員も介護職員とともに介護に携わり介護の申し送り、報告を受けて受診の必要、また主治医への報告を行っている。必要なら家族に相談し、受診して頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院前には病院への看護サマリーや口頭での情報を交換し、退院許可が出たら病院と連絡をとり情報を頂き退院の調整を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時から看取りの質問をされるご家族が多くなりました。苑で出来る事の説明をしています。終末期や病状が出た時は繰り返し家族と話し合います。地域と連携して後悔のないように終末期を過ごして頂きたいと務めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的に研修を行っています。また事故や急変時は連携をとって迅速に対応できるよう話し合っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	毎月の消防訓練、避難訓練と地域の消防署の指導で年2回の防災訓練をおこなっています。町内会、消防署と協力を頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	親しい中にも礼儀を持って人生の先輩としての言葉かけ態度を心掛けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	食事、入浴、着替え リクレーションの場面で自分の思い、自己主張が言える環境であるよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床時間や就寝時間、または居室で過ごす等、業務上の無理強いをせず融通をきかせています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服を選ぶ、お化粧品をする、散髪をする、等可能な限り、自由に選択して頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居者様に調理の下ごしらえをして頂き食器を洗って頂いたり、おぼん、机を拭いていただいたり活躍して頂いています。手作りおやつも楽しそうに笑い声が響きます。		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一度に食べられない方には時間をかけて、また軟飯 お粥 副食は刻みミキサー食と器も考慮しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎日の食後に歯磨きを促し、介助のいる方義歯の洗浄、消毒、うがいを個人別に行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>出来るだけトイレで排泄して頂くようにタイミングを見て声かけ、誘導、介助をおこなっています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>日々の食事の栄養バランス、水分量、体操、歩行訓練を行い自然に排便ができるよう配慮しています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴は個人に声かけを行い、体調不良の時や気分が進まない拒否があるときは無理強いせず、時間を空けて声かけをしたり、日にちを変えるなど融通をきかせて気持ちよく入って頂くよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	時間を決めず、ホールでテレビなど見て頂いたり、他入居者と会話をされたり自分の意思で休んで頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬については看護師とスタッフがダブルチェックを行う。薬についての知識を意識してもらうように個人の薬の一覧表と処方された薬をファイルしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個人の好きな事、好きな歌、生活歴を会話から引き出し、レクリエーション、ゲーム等自由参加で楽しんで頂いている。行事食や誕生日会、利用者をつくるおやつ等スタッフが工夫を凝らしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は交代で職員とのお散歩をして頂いています。現在はコロナウイルスのため外出が自由にできませんが家族との外出、外泊も自由にして頂いていました。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族と相談の上対応させて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話はご自由に使って頂いております。ご家族からの電話も取り次いで心行くまでお話しして頂いております。お手紙のお渡しも行っております。希望があれば支援させていただきます。またオンライン面会の受付も行っております。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	常にお掃除をしています。季節により温度調整をして暑すぎず、寒すぎず中庭から季節が感じられるようにまた季節の花を飾り居心地の良い空間であるよう工夫しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	気の合った入居者様同士、食事の席を配慮しレクリエーション等の時も配慮している。ソファでゆっくりテレビを見たり、居室で休まれたりそれぞれ本人の意思で場所を移動して頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時に本人と家族が家具等の配置をして頂きます。配置を変える時には本人の許可を得て家族に説明をさせて頂いております。あくまで本人のお部屋なので自由に使って頂いております。馴染みの写真、人形大切に飾っているものを飾って頂いております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	施設内は自由に移動して頂いております。隣のユニットに遊びに行かれたり、お友達に会いに行かれたり、玄関から外を眺めたり庭に出て頂いたり自由に歩かれています。		

V アウトカム項目(西ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが (コロナウイルス拡大のため外出できていない。) ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように(現在コロナウイルスのため面会が制限されている) <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームほのぼの苑五日市八幡

作成日 令和3年 11月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の資料にある事故報告について対策を提示する	運営推進会議の資料として事故報告の内容と対策を提示することによりアドバイスを受けやすくする	運営推進会議の資料に事故報告だけでなく内容、検討した対策の書類を添付する	令和4年からの運営推進会議から
2	1	理念を意識し現場のケアに落とし込む	理念をスタッフが共有して介護に対する方向性を持ち介護のレベルを上げるよう意識する	朝のミーティングで理念の唱和とその日の目標を発表話し合いをする	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。